

管理ポータル操作ガイド（利用状況確認編） はじめに

本書は、本サービスのシステム管理者が利用する管理ポータルを利用方法について記載したガイドです。

本書の対象読者は以下を想定しています。

- ・本サービスを利用する、お客様のシステム管理者
- ・本サービスを利用する、システムの運用構築を支援するSI担当者

本ページの記載内容

本ページでは以下の機能について説明します。

- ・テナント単位でのAPI利用状況の確認
- ・テナント単位でのトークン数(入力/出力)利用状況の確認
- ・テナント単位でのインデックス使用量の確認

利用状況確認

利用状況確認の機能では、日ごとの対話APIやチャットUIの使用回数を確認できるページを提供します。

集計のタイミングや対象サービスの詳細については、利用状況計測編を参照してください。

画面説明

利用状況は、以下の5つの画面で構成されています。

- ・利用状況画面
- ・APIコール数画面
- ・入力トークン数画面
- ・出力トークン数画面
- ・インデックス使用量画面

サイドバーから「利用状況」をクリックすると利用状況画面に遷移します。



それ以外の画面は、利用状況の行の右側にあるプラスボタンを押すと展開され、それぞれのリンクをクリックすると各画面に遷移します。



なお、「インデックス使用量」の行は情報検索(RAG)契約を行っている方のみに表示されます。

利用状況画面

利用状況のサマリを確認できる画面です。

この画面に遷移するか、右上に存在する更新ボタンを押すことで最新の状態を取得できます。

それぞれのカードの右上にある「詳細」リンクをクリックすると、サイドメニュー同様に各計測情報の詳細情報画面に遷移が可能です。

本画面には以下の4つのカードが表示されます。（「CSVコピー」ボタンを押すことでこれらの情報をクリップボードにコピーできます。）

- APIコール数
- 入力トークン数
- 出力トークン数

・インデックス使用量

なお、「インデックス使用量」のカードは情報検索(RAG)契約を行っているテナントのみ表示されます。

APIコール数画面

今まで使用したAPIのコール数の詳細を、日付を最小単位として時期ごとに確認することができる画面です。

APIコール数

[利用状況](#) > APIコール数

更新

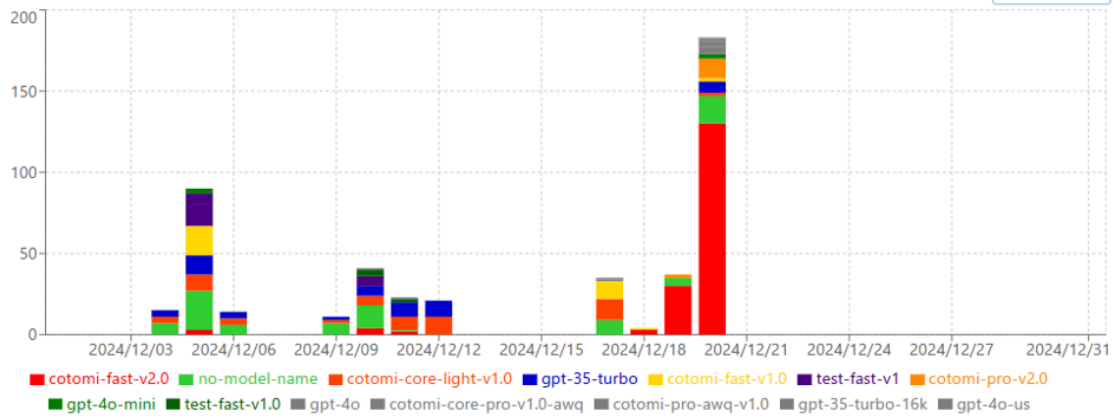
12月の合計	474回
11月の合計	0回

集計日時(前日分まで集計): 2024/12/23 14:10:19

今月の利用状況 過去の利用状況

表示期間: 2024/12/01 - 2024/12/31

期間指定



🔗 [エクスポート](#)

集計日 ↑	コール数(合計)	cotomi-f...	no-mod...	cotomi-c...	gpt-35-t...	cotomi-f...	test-fast-...	cotomi-p...	gpt-4o-...	test-fa
2024/12/01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/04	15	0	7	4	4	0	0	0	0	0
2024/12/05	90	3	24	10	12	18	20	0	3	0
2024/12/06	14	0	6	4	4	0	0	0	0	0
2024/12/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/09	11	0	7	2	2	0	0	0	0	0
2024/12/10	41	4	14	6	6	0	6	0	0	4
2024/12/11	23	2	1	8	9	0	0	0	0	2
2024/12/12	21	0	0	11	10	0	0	0	0	0
2024/12/13	集計失敗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/17	35	0	9	13	0	11	0	0	0	0
2024/12/18	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0
2024/12/19	37	30	5	0	0	0	0	2	0	0
2024/12/20	183	130	17	2	7	2	0	12	3	0
2024/12/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ページあたりの行数: 50 ▾ 1~22 / 22 < >

APIコール数画面では以下の情報が確認できます。

- ・先月のAPIコール数合計
- ・今月のAPIコール数合計
- ・最終集計日時
- ・APIコール数棒グラフ
- ・APIコール数テーブル

なお、APIコール数棒グラフ及びAPIコール数テーブルでは、後述の「操作」内における「タブ」と「期間指定ボタン」によって指定した期間で表示期間を指定します。

画面を開いた時点でのデフォルトの指定期間は以下のとおりです。

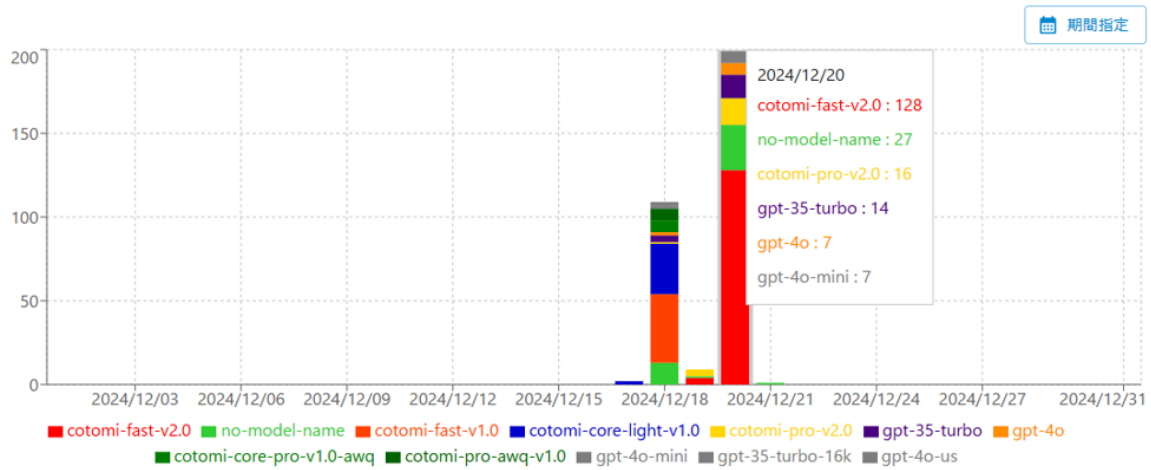
- ・タブ: 今月の利用状況タブが選択
- ・期間指定ボタン: 今月初日~今月末日

表示

APIコール数棒グラフ

指定された期間のAPIコール数を、1日を1本の棒とした棒グラフで表示します。

棒グラフはAPIで使用したモデルごとに色分けされて表示されており、マウスオーバーすることで該当日のモデル別APIコール数が確認できます。



モデルの並び順は、直近30日の呼び出し回数が多いものから左に配置されます。


APIコール数テーブル

指定された期間のAPIコール数を、1行ごとに1日、1カラムごとに1モデルの形のテーブルで表示します。

モデルごとの1日あたりのAPIコール数を表すカラムのほかに、以下の2つのカラムがあります。

- 集計日: その行が表す日付を、2024/12/01形式で表示します。
- コール数(合計): その行が表すAPIコール数の合計を表します。集計に失敗している日だった場合、再集計ボタンが表示されます。

📄 エクスポート

集計日 个	コール数(合計)	cotomi-f...	no-mod...	cotomi-c...	gpt-35-t...	cotomi-f...	test-fast...	cotomi-p...	gpt-4o-...	test-fa
2024/12/01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/04	15	0	7	4	4	0	0	0	0	0
2024/12/05	90	3	24	10	12	18	20	0	3	0
2024/12/06	14	0	6	4	4	0	0	0	0	0
2024/12/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/09	11	0	7	2	2	0	0	0	0	0
2024/12/10	41	4	14	6	6	0	6	0	0	4
2024/12/11	23	2	1	8	9	0	0	0	0	2
2024/12/12	21	0	0	11	10	0	0	0	0	0
2024/12/13	集計失敗		0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/14	0	<input type="button" value="再集計を実行する"/>	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

このAPIコール数テーブルの内容は、エクスポートボタンで出力することができます。

操作

更新ボタン

APIコール数を取得し、最新の状態に更新します。

このボタンを押した場合タブは変更されませんが期間指定ボタンの期間はリセットされます。

タブ

今月のAPIコール数と先月以前のAPIコール数のどちらを参照しているかを指定するタブです。

このタブを操作することで表示する期間の範囲を今月のデータの範囲か、先月以前のデータの範囲から選ぶことができます。

期間指定ボタン

APIコール数棒グラフ及びAPIコール数で表示する期間を指定するダイアログを表示するボタンです。

タブで指定された範囲の中で、どの期間なのかを指定することができます。

開始日と終了日は、範囲内にデータの存在する最古の日付～範囲内にデータの存在する最新の日付までしか指定できません。



2024/12/17～2024/12/19にデータが存在した場合

エクスポートボタン

APIコール数テーブルの内容を、CSV形式のファイルとしてダウンロードすることができるボタンです。

- ・ファイルの内容は、APIコール数テーブルと同じです。
- ・ファイル中のモデルの並び順は、左からモデル名のASCII順に配置されます。
- ・再集計ボタンが表示されるセルには、空白が入ります。

ファイル名は以下の規則となります。

タブの選択状態	ファイル名
今月の利用状況	currentApiCallUsage_<テナント名>_yyyyMMddhhmmss.csv 例: currentApiCallUsage_D0000001_20240920113536.csv
過去の利用状況	historyApiCallUsage_<テナント名>_yyyyMMddhhmmss.csv 例: historyApiCallUsage_D0000001_20240920113536.csv

入力トークン数画面

入力トークン数の詳細について、日付を最小単位として時期ごとに確認することができる画面です。

入力トークン数

利用状況 > 入力トークン数

更新

12月の合計 29,920 トークン

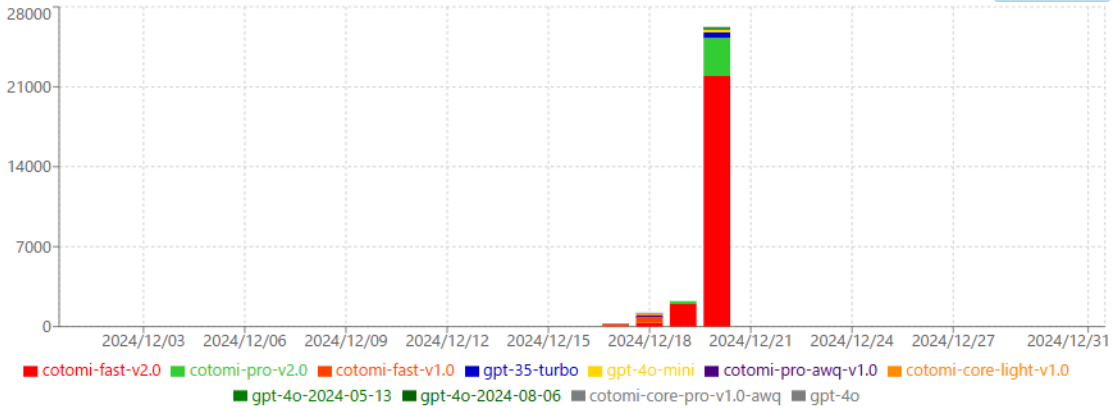
11月の合計 0 トークン

集計日時(前日分まで集計): 2024/12/23 14:10:19

今月の利用状況 過去の利用状況

表示期間 : 2024/12/01 - 2024/12/31

期間指定



エクスポート

集計日 ↑	入力トークン...	cotomi-f...	cotomi-p...	cotomi-f...	gpt-35-t...	gpt-4o-...	cotomi-p...	cotomi-c...	gpt-4o-2...	gpt-4o
2024/12/01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/13	集計失敗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/17	254	0	0	216	0	0	38	0	0	0
2024/12/18	1200	316	0	494	0	0	160	146	0	0
2024/12/19	2224	1972	252	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/20	26242	21940	3346	0	494	226	0	0	112	98
2024/12/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ページあたりの行数: 50

1 ~ 22 / 22

本画面では以下の情報が確認できます。

- 先月の入力トークン数合計
- 今月の入力トークン数合計
- 最終集計日時
- 入力トークン数棒グラフ
- 入力トークン数テーブル

なお、入力トークン数棒グラフ及び入力トークン数テーブルでは、後述の「操作」内における「タブ」と「期間指定ボタン」によって指定した期間で表示期間を指定します。

画面を開いた時点でのデフォルトの指定期間は以下のとおりです。

- タブ：今月の利用状況タブが選択
- 期間指定ボタン：今月初日~今月末日

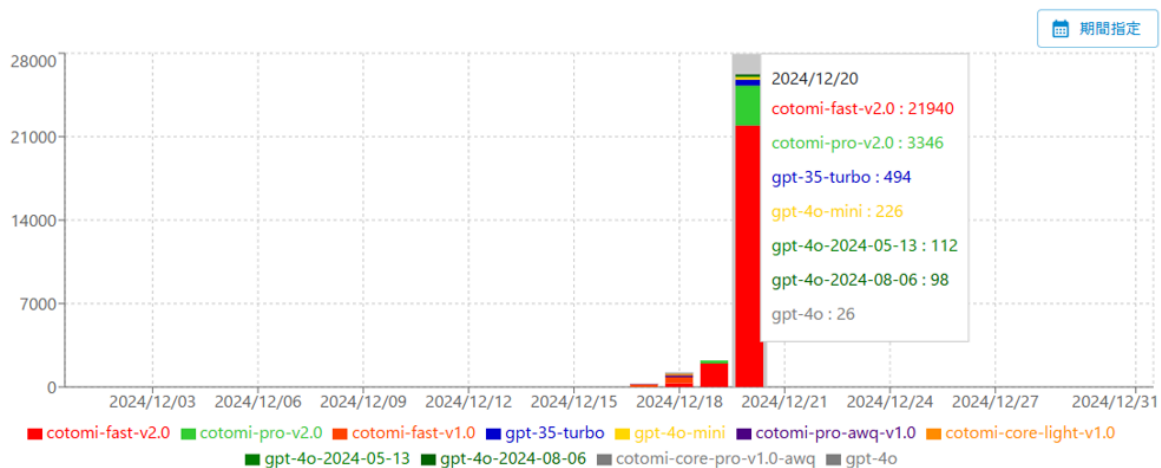
表示

入力トークン数棒グラフ

指定された期間の入力トークン数を、1日を1本の棒とした棒グラフで表示します。

棒グラフはAPIで使用したモデルごとに色分けされて表示されており、マウスオーバーすることで該当日のモデル別入力トークン数を見ることができます。

表示期間：2024/12/01 - 2024/12/31




モデルの並び順は、直近30日の呼び出し回数が多いものから左に配置されます。

入力トークン数テーブル

指定された期間の入力トークン数を、1行ごとに1日、1カラムごとに1モデルの形のテーブルで表示します。

モデルごとの1日あたりの入力トークン数を表すカラムのほかに、以下の2つのカラムがあります。

- 集計日: その行が表す日付を、2024/12/01形式で表示します。
- 入力トークン数(合計): その行が表す入力トークン数の合計を表します。集計に失敗している日だった場合、再集計ボタンが表示されます。

📄 エクスポート										
集計日 ↑	入力トークン...	cotomi-f...	cotomi-p...	cotomi-f...	gpt-35-t...	gpt-4o-...	cotomi-p...	cotomi-c...	gpt-4o-2...	gpt-4o
2024/12/01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/13	集計失敗 	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/14	0	<input type="button" value="再集計を実行する"/>	0	0	0	0	0	0	0	0

この入力トークン数テーブルの内容は、エクスポートボタンで出力することができます。

操作

更新ボタン

入力トークン数を取得し、最新の状態に更新します。

このボタンを押した場合タブは変更されませんが期間指定ボタンの期間はリセットされます。

タブ

今月の入力トークン数と先月以前の入力トークン数のどちらを参照しているかを指定するタブです。

このタブを操作することで表示する期間の範囲を今月のデータの範囲か、先月以前のデータの範囲から選ぶことができます。

期間指定ボタン

入力トークン数棒グラフ及び入力トークン数で表示する期間を指定するダイアログを表示するボタンです。

タブで指定された範囲の中で、どの期間なのかを指定することができます。

開始日と終了日は、範囲内にデータの存在する最古の日付～範囲内にデータの存在する最新の日付までしか指定できません。

2024/12/17～2024/12/19にデータが存在した場合

エクスポートボタン

入力トークン数テーブルの内容を、CSV形式のファイルとしてダウンロードすることができるボタンです。

- ・ファイルの内容は、入力トークン数テーブルと同じです。
- ・ファイル中のモデルの並び順は、左からモデル名のASCII順に配置されます。
- ・再集計ボタンが表示されるセルには、空白が入ります。

ファイル名は以下の規則となります。

タブの選択状態	ファイル名
今月の利用状況	currentInTokenUsage_<テナント名>_yyyyMMddhhmmss.csv 例: currentInTokenUsage_D0000001_20240920113536.csv
過去の利用状況	historyInTokenUsage_<テナント名>_yyyyMMddhhmmss.csv 例: historyInTokenUsage_D0000001_20240920113536.csv

出力トークン数画面

出力トークン数の詳細について、日付を最小単位として時期ごとに確認することができる画面です。

出力トークン数

[利用状況](#) > 出力トークン数

更新

12月の合計

15,194 トークン

11月の合計

0 トークン

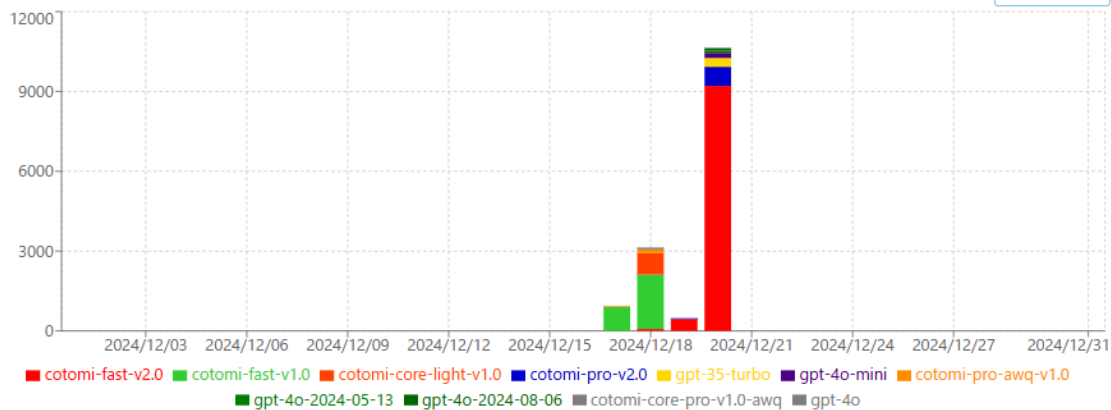
集計日時(前日分まで集計): 2024/12/23 14:10:19

今月の利用状況

過去の利用状況

表示期間: 2024/12/01 - 2024/12/31

期間指定



📄 エクスポート

集計日 ↑	出力トークン...	cotomi-f...	cotomi-f...	cotomi-c...	cotomi-p...	gpt-35-t...	gpt-4o-...	cotomi-p...	gpt-4o-2...	gpt-4o
2024/12/01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/13	集計失敗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/17	938	0	906	0	0	0	0	32	0	0
2024/12/18	3133	71	2045	809	0	0	0	136	0	0
2024/12/19	477	445	0	0	32	0	0	0	0	0
2024/12/20	10646	9207	0	0	718	330	194	0	89	84
2024/12/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ページあたりの行数: 50 ▾ 1~22 / 22 < >

出力トークン数画面では以下の情報が確認できます。

- ・先月の出力トークン数合計
- ・今月の出力トークン数合計
- ・最終集計日時
- ・出力トークン数棒グラフ
- ・出力トークン数テーブル

なお、出力トークン数棒グラフ及び出力トークン数テーブルでは、後述の「操作」内における「タブ」と「期間指定ボタン」によって指定した期間で表示期間を指定します。

画面を開いた時点でのデフォルトの指定期間は以下のとおりです。

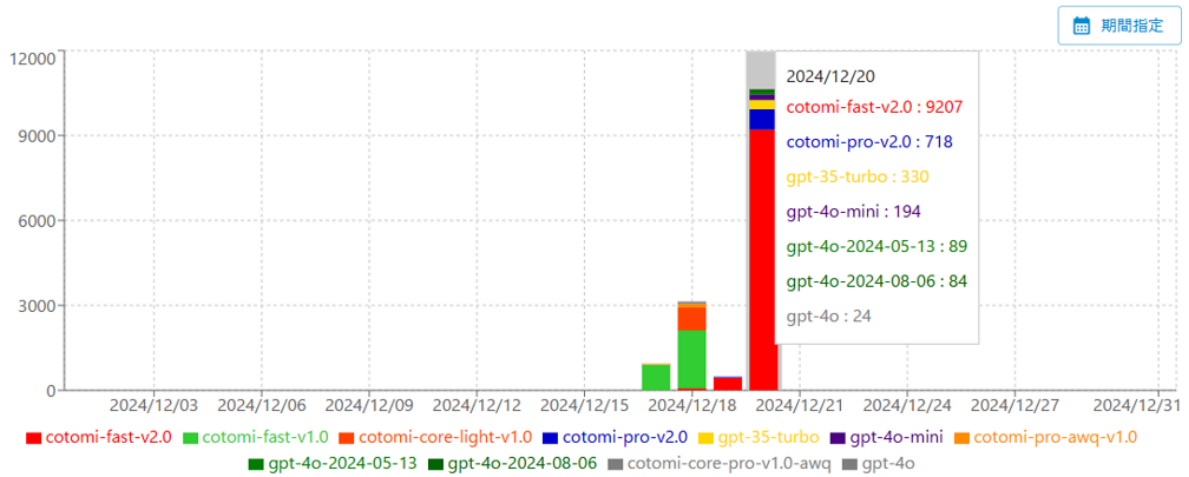
- ・タブ：今月の利用状況タブが選択
- ・期間指定ボタン：今月初日~今日

表示

出力トークン数棒グラフ

指定された期間の出力トークン数を、1日を1本の棒とした棒グラフで表示します。

棒グラフはAPIで使用したモデルごとに色分けされて表示されており、マウスオーバーすることで該当日のモデル別出力トークン数を見ることができます。




モデルの並び順は、直近30日の呼び出し回数が多いものから左に配置されます。

出力トークン数テーブル

指定された期間の出力トークン数を、1行ごとに1日、1カラムごとに1モデルの形のテーブルで表示します。

モデルごとの1日あたりの出力トークン数を表すカラムのほかに、以下の2つのカラムがあります。

- ・ 集計日: その行が表す日付を、2024/12/01形式で表示します。
- ・ 出力トークン数(合計): その行が表す出力トークン数の合計を表します。集計に失敗している日だった場合、再集計ボタンが表示されます。

📄 エクスポート										
集計日 ↑	出力トークン...	cotomi-f...	cotomi-f...	cotomi-c...	cotomi-p...	gpt-35-t...	gpt-4o-...	cotomi-p...	gpt-4o-2...	gpt-4o...
2024/12/01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/03	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/07	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/13	集計失敗 	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2024/12/14	0	再集計を実行する		0	0	0	0	0	0	0
2024/12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

この出力トークン数テーブルの内容は、エクスポートボタンで出力することができます。

操作

更新ボタン

出力トークン数を取得し、最新の状態に更新します。

このボタンを押した場合タブは変更されませんが期間指定ボタンの期間はリセットされます。

タブ

今月の出力トークン数と先月以前の出力トークン数のどちらを参照しているかを指定するタブです。

このタブを操作することで表示する期間の範囲を今月のデータの範囲か、先月以前のデータの範囲から選ぶことができます。

期間指定ボタン

出力トークン数棒グラフ及び出力トークン数で表示する期間を指定するダイアログを表示するボタンです。

タブで指定された範囲の中で、どの期間なのかを指定することができます。

開始日と終了日は、範囲内にデータの存在する最古の日付～範囲内にデータの存在する最新の日付までしか指定できません。



2024/12/17～2024/12/19にデータが存在した場合

エクスポートボタン

出力トークン数テーブルの内容を、CSV形式のファイルとしてダウンロードすることができるボタンです。

- ファイルの内容は、出力トークン数テーブルと同じです。
- ファイル中のモデルの並び順は、左からモデル名のASCII順に配置されます。
- 再集計ボタンが表示されるセルには、空白が入ります。

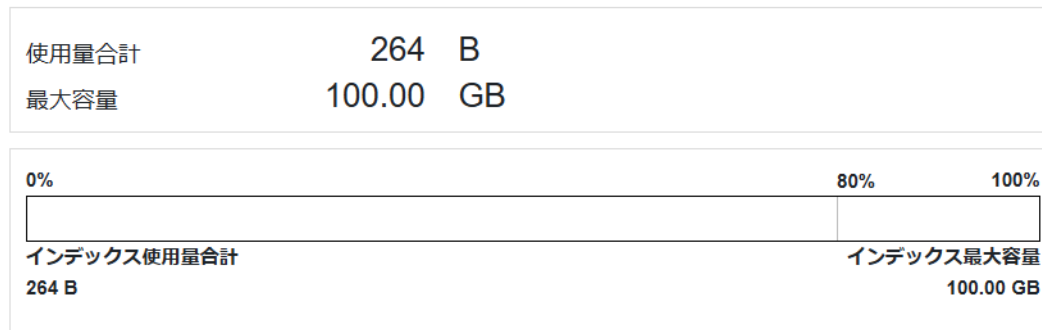
ファイル名は以下の規則となります。

タブの選択状態	ファイル名
今月の利用状況	currentOutTokenUsage_<テナント名>_yyyyMMddhhmmss.csv 例: currentOutTokenUsage_D0000001_20240920113536.csv
過去の利用状況	historyOutTokenUsage_<テナント名>_yyyyMMddhhmmss.csv 例: historyOutTokenUsage_D0000001_20240920113536.csv

インデックス使用量画面

今使用しているインデックスの容量と最大容量を表示する画面です。

更新



以下の内容が表示されます。

- 現在のインデックス使用量
- インデックス最大容量

現在のインデックス使用量が80%を超えた場合、割合を示すグラフの色がオレンジに、最大容量に達したら赤色になります。

「更新」ボタンを押下することで、最新の状態にすることができます。